

第3学年2組総合的な学習の時間学習指導案

令和元年9月9日（月）5校時

児童数

指導者

場 所 3年2組教室

1 単元名 「ラグビー・オリパラ博士になろう」

2 単元について

（1）児童の実態

(2) 題材について

今年の9月から10月にかけて、熊谷ラグビー場を含む全国12の会場でラグビーワールドカップが開催される。そのため、開催100日前からのカウントダウンカレンダーを学級全体で作成したり、朝の会で一人一人が調べたラグビーについての情報を発表したりしながら、本物のラグビーに触れることや、初めてであろう国際試合を楽しみにしている。また、熊谷市全体も今まで以上に、ラグビーを歓迎する熱気に包まれることが予想され、児童の機運も日に日に高まっていくであろうと考えられる。そんなラグビーワールドカップが目前となった今日、ラグビーやオリンピック・パラリンピックの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ、表現する力を身に付けられるように本題材を設定した。

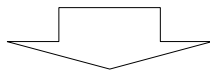
(3) 指導について

指導にあたっては、ラグビータウンとしての熊谷を身近な人たちにアピールしようという課題を投げかけ、ラグビーやオリンピック・パラリンピックの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷に関わる課題設定を行っていく。ラグビーワールドカップのカウントダウンカレンダー作成や朝の会のラグビーについてのスピーチ等をふまえて、イメージマップを活用し課題を広げていく。その際には、児童の思いや願い、相手意識・目的意識があるものを設定させたい。また課題別にグループ分けをしておき、お互いに考えや意見を出し合ったり見通しや計画を確かめ合ったりして、他者の意見を受け入れ問題の解決や探究活動を行っていく。そうすることで、多様な情報の収集につながり異なる視点で検討でき、さらに考えに深まりが出て学習の質が高まると考えられる。

本時では、話し合いを行わせることで、自分たちの報告書をさらよいものに学習したことが身近な生活とどのようなかかわりがあるのかを気付かせるように、籠原駅やラグビー場等の写真を教室に掲示しておくなど、意図的に児童から反応が出る環境作りをする。また、国語科の「聞き取りクイズをしよう」や「生き物のとくちょうをくらべて書こう」で学習した活動を呼び戻すことで活用できる教科の幅が広がったり、話し合い活動を取り入れることで、互いに深く考えよりよいものを作り出そうとする心を育てたりと、学習が連続・発展的に展開し、自ら学び続ける子供たちの姿に高めることにつなげていきたい。

3 研究主題との関わり

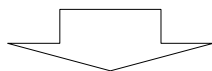
研究主題 「幅広い学習や生活の場面で活用できる力を育む」
～教科横断的な指導を通して～



仮説1

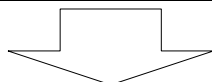
○生活の場面を想起させる授業の工夫

意図的に活用場面を設定すれば、児童は生活場面で習ったことを活用できるようになるだろう。



手立て①

生活の場面を想起させる授業の展開や既習事項の活用を確認させる問いかけの工夫

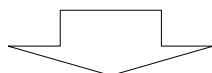


具体的な方法

- ①籠原駅やラグビー場等の写真を教室に掲示しておくなど、意図的に児童から反応が出る環境作りをする。
- ②本時の内容がまとめの中で、生活場面や教科で活用できることを気付かせる。

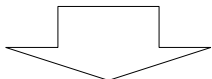
仮説2

いろいろな教科が関わることで、活用できる教科の幅が広がるであろう。



手立て②

知識の活用の中で、他教科の関わりを見える化する。



具体的な方法

- ①国語科の「生き物のとくちょうを比べて書こう」で学習した情報の取捨選択の方法や「聞き取りクイズをしよう」で学習した、分かりやすい話し方・聞き方を活用させる。
- ②社会科の「わたしのまち くまがや」で学習した熊谷の地図やラグビー場の方角を想起させる。
- ③他教科との関わりを見える化し、関係性を意識させる。

4 単元の目標

- (1) ラグビー・オリンピック、パラリンピックの競技やラグビーワールドカップの会場となる熊谷について探求的な活動を通して、知識・技能を身に付け、地域の特性について理解する。 【知識・技能】
- (2) ラグビー・オリンピック、パラリンピックの競技やラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、見通しをもって、自己の課題設定、情報の収集、整理分析をして、まとめ・表現する力を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力】
- (3) ラグビー・オリンピック、パラリンピックの競技やラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけながら自ら社会に参画しようとする態度を養う。 【学びに向かう力・人間性】

5 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性
ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について探求的な活動を通して、知識・技能を身に付け、地域の特性について理解している。	ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、見通しをもって、自己の課題設定、情報の収集、整理分析をして、まとめ・表現する力を身に付けている。	ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけながら自ら社会に参画しようとしている。

6 指導計画

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科・領域】「関連する内容」(時期)	【教科・領域】 「関連する内容」(時期)
課 題 の 設 定 時 間	○課題の見付け方 ①ラグビー・オリパラクイズを楽しみながら、それらを学ぶことを知る。 ②映像などを見て競技について知る。 ③クイズの作り方、出し方などについて知る。(1時間) ④課題決定とグループ作り (1時間)	・映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・クイズ大会を行うことで、楽しみながら学習ができることに気付けるようにする。	「オリンピックの精神」 「クイズの出し方」 「出場国についての文化理解」	【道徳】 「目標をもってねばり強く」 (9月) 【国語】 「聞き取りクイズをしよう」 クイズを通して大事なことを分かりやすく話したり聞き取ったりする (4月) 【外国語】 「世界の様々な言語とあいさつ」

				(4月)
情し 報ら のべ 収る 集4 時 間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤調べる分担や発表方法 について話し合う。 (1時間) ⑥ラグビー・オリパラノ ートを作り、インター ネットや書籍などを活 用して調べる。 (3時間)	・調べたことが、どこの情報 か、いつの情報かを明らか にして記録できるようにす る。 ・図書室の本には数に限りが あるため、市報、広報誌な ど家庭から持ち寄った資料 をもとに調べることができ るようにする。 ★知識やその探求技能を身に 付けることができている。 【知識および技能】 (記録ノート)	「調べる活動」 「ラグビーや駅 前のラグビーモ ニュメント」 「砲丸投げの玉 の重さ(川口市)」	←【国語】 「生き物のとくちよ うをくらべて書こう」 知りたいことに応じた 本を探して読み、必 要な事柄を記録する。 (5月) →【社会】「市の様子」 市の施設や環境につ いて学ぶ (5月) →【算数】 「重さのたんいとは かり方」 (11月)
整ふ 理か ・め 分る 析5 時 間 本 時 3 5	○情報整理の仕方 ⑦調べたことを大切なこ との順に整理する。 (1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物について の自分の考えを整理す る。 ⑧調べたこと(ラグビー ワールドカップやオリ ンピックシンボルの形 や色、並び方など)を まとめていく。 (4時間)	・見る人にどのようなはたら きかけを行う資料を作るの かを明らかにさせること で、見る人の興味をひく発 表資料を作ることができる ようにする。 ・文字を減らし、グラフや写 真など、視覚にうったえ る見やすい資料づくりがで きるようにする。 ★情報を収集し、整理分析す ることができている。 【思考力・判断力・表現力】 (記録ノート・発表資料)	「自分の考えの 表し方」 「マークやシン ボル」	→【国語】 「たからものをしよ かいしよう」 中心点をはっきりさ せ、理由を添えて紹 介する(6月) →【図工】 「自分マーク」をつ くりお話を作って伝 え合う (2月)
まあ とら めわ ・す 表・ 現ひ ろ め る	○効果的な伝え方 ⑨学級・学年や保護者等 を招いて、ラグビー・ オリパラクイズ大会を 開く。(2時間) ⑩体験や発表等を通し て、考えたことをまと める。(1時間)	・聞き手を意識したまとめ方 や発表の仕方を考えさせ る。 ・友達の発表のよいところを 見つけたり、発表内容を記 録したりしながら、自己の 理解も高める。 ・単元を通しての振り返りが できるようにする。	「自分の考えの 表し方」 「クイズの出し 方」	→【国語】 「たからものをしよ かいしよう」 中心点をはっきりさ せ、理由を添えて紹 介する(6月)【国語】 →「聞き取りクイズを しよう」 クイズを通して大事

3 時 間	<p>★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>(振り返りシート、発表内容、態度)</p>	<p>なことを分かりやすく話したり聞き取ったりする (4月)</p>
-------------	--	------------------------------------

7 本時の学習指導

(1) 目標

- 自分たちの課題についてまとめたことを情報交換し、自分たちの報告書の分析・修正を行おうとしている。【思考力・判断力・表現力】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ☆教科横断	◎評価 ★生活場面
1 本時のめあてを知る。	<p>①これはどこでしょうか？</p> <p>②新堀小学校から見て、熊谷駅はどちらの方角？</p> <p>③ラグビー場は？</p>	<p>○自分たちが調べてきたことを想起させ、学習のめあてと流れを確認する。</p> <p>○写真を見せながら発問し、調べてきたことを導き出す。</p> <p>★ラグビーワールドカップが目前に迫っていることを確認する。</p> <p>☆社会科「わたしたちのまち みんなのまち 熊谷市」を想起させる。</p>	
<p>ミニ発表会をして、報告書の内容をたしかめよう！</p>			
2 グループに分かれ、それぞれの報告書を聞いて、情報交換する。	<p>○わかりやすい発表の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと ・反応を見て間をとる ・説明の順序 ・資料の見せ方 	<p>○各班からそれぞれ集まり、報告書を発表して意見交換させる。</p> <p>○発表の仕方、聞き方を確認させる。</p> <p>○友達の発表から自分の意見や質問ができるように発表の聞き方を指導する。</p> <p>☆国語科「聞き取りクイズをしよう」や「たからものをしょうかいしよう」に触れ、既習を生かす。(他教科関連シートへ記入)</p>	<p>・異なるグループの報告書を聞いて、それぞれのよさについて意見交換をする。</p>

こういうことって、
学校の勉強や生活で使っ
たことないかな？

★話し合いの中で、折り合いをつけ自ら問題解決する力をつけさせることは、今後の人生にも必要なことだと認識させる。

3 自分のグループに戻り自分たちの報告書の見直しをする。

○報告書に合った改善点の考察

- ・さらに工夫する点、改善点はないか
- ・発表の声や態度
- ・つなぎ言葉
- ・テーマとの整合性

○友達の発表から、自分たちの報告書に取り入れる点はないか、話し合わせる。メモに基づいて、自分たちの報告書を見直させ、さらに質の高いものへと高めていくように指示する。

◎自分たちの課題についてまとめたことを情報交換し、自分たちの報告書の分析・修正を行うことができる。

【思考力・判断力・表現力】

4 各班の報告書の見直し点を発表する。

○各班の見直し点や修正点を掲示することで全体で共有しやすくする。

5 まとめ

友達と話し合いをして、どんなことがわかりましたか？
それは、どんなところで使えそうですか？

◎本時の学習は、どんな場面で生かせるか考えたまとめをする。

6 本時の振り返りをする。

8 板書計画

課

報告書をパワーアップできるかな？

各班の工夫

各班の工夫

写真

写真

写真

各班の工夫

各班の工夫

写真

写真

写真

各班の工夫

各班の工夫

